

2021年度卒業生進路状況

(2022年3月31日現在)

卒業予定者数 254 (男子94名・女子160名)

			男子	女子	計
進学者数	164名 64.6%	四年制大学	33	30	63
		短期大学	0	17	17
		専門学校	18	66	84
就職者数	89名 35.0%	民間企業	35	45	80
		公務員	8	1	9
		選定中	0	0	0
その他 1名		未定・留学・浪人・家事手伝い等	0	1	1

職種別内定者数

	内定数	%
専門・技術	5	5.7
事務	19	21.6
販売	4	4.5
サービス	10	11.4
生産工程	34	38.6
輸送・機械運転	1	1.1
建設・採掘	4	4.5
運搬・清掃・梱包	0	0.0
保安	2	2.3
公務	9	10.2
合計	88	100.0

産業別内定者数

	内定数	%
電気・ガス・水道	4	4.5
建設	3	3.4
製造	41	46.1
専門技術サービス	3	3.4
情報・通信	1	1.1
運輸・郵便	2	2.2
卸・小売	12	13.5
金融・保険	0	0.0
不動産・物品賃貸	0	0.0
飲食・宿泊	5	5.6
サービス	6	6.7
医療・福祉	3	3.4
教育・学習支援	0	0.0
公務員	9	10.1
合計	89	100.0

今年度の就職の特徴

- ・求人状況としては、製造の求人数は多かったが、事務職の求人数は少なく、事務職希望の生徒は希望がかなわず、進路変更した者もいた。ほとんどの生徒が年内中に進路を決定できた。
- ・昨年に続き、就職試験では学科試験を実施する企業が多く、対策として2、3年次に模擬試験を実施している。今年度はSPIから近年採用度が高いとされているCSATに変更した。入社後に英語の試験を課す企業への対応として、2月の登校日に英語科による課外を実施。
- ・公務員希望者は年々増加している中、今年度の公務員合格者は9名と健闘。うち5名は山梨県警であった。

今年度の進学の特徴

- ・専門学校進学者は今年度も若干減少している。看護系に進む生徒は大学・専門学校併せて15名となった。各学校のアドミッションポリシーの重要性、オンライン面接の実施は今年度も存続している。
- ・推薦入試の場合は早期に合格が決まってしまうため、その後の「学修意欲」や基礎学力の低下が心配されるが、こうした危惧は進学先の上級学校からも指摘されているところで今年度は入学前課題を出す学校が増加した。例年にはなかったが、専門学校からの課題も出されている。